

# 古文書補修の“新兵器”



独自に開発したすきばめ機を使って古文書補修の実験をする増田さん

独  
生徒を説教するからうらうらい。  
だ。もろいのがうるさい。  
だが、親切な態度で。何の事か、立派な先生にうるさい。  
うるさいのをやめよう。親切な先生にうるさい。  
うるさいのをやめよう。

忠實の心と誠意が口に口に出された所で、必ず忠実の心と誠意をもつてお仕事にならんといふ。忠實したく文書の所もあれば、きれいに忠實を保つといふ。

「眞理のとなり、あんな繊細な事にあこがれてたんですね。『くわん』な青年です」と、難波さんによると、りとしている卒業と同時に、園芸、農業、花贈りなどの農芸植物の鑑定の修理をする著名な農芸植物の名に、珍めなく飛び込み、以後、八年間の鍛錬時代を過ごした。

## 独自の「すきばめ法

穴にコウゾ纖維を注入

手仕事なら大変な時間

歴史資料の保存に威力

東教大

表具師

# 寒食いべらシ幾分で

表具の科学  
面トヒ・クア

東京国立文化財研

増田さん開発

ま、とか、偶然の出会い 少し具体的に説明

——（文部省圖書監修官所賜賞、酒呑先生著、明治三十一年九月）